

令和4年度（2022年度）予算執行方針

1 予算の概要

本年度の予算は、「八王子ビジョン2022」の計画期間最終年度となることから、その総仕上げに向けて取り組むとともに、前年度から引き続き「新たな日常」へ対応するほか、現在策定中の「長期ビジョン」につなげる予算としたところである。また、令和3年度（2021年度）2月補正予算に計上した新型コロナウイルス感染症への対応と一体で効果効率的に執行することにより、切れ目なく市民の命と生活を守ることとしている。

さらに、「ゼロカーボンシティ宣言」に伴い、市民や事業者と力を合わせて知恵を出し合い、「オール八王子」で2050年までの二酸化炭素排出実質ゼロに向けた取組をスタートとさせる予算とした。

2 予算執行の考え方

本市においても少子高齢化、人口減少社会が進行し、今後更に厳しい財政状況が見込まれている。そうした中、新型コロナウイルス感染症や国際情勢の変化に伴い、市民生活や地域経済に影響が生じていることから、こうした社会状況の変化にもしっかりと対応していかなければならない。

予算計上した事業の実施にあたっては、漫然と執行するのではなく、事業目的をしっかりと理解した上で、職員が担うべき役割を考え、最大の効果が発揮できるよう、常に実施手法の見直しを図ること。特に、コロナ禍を契機に加速するDXの取組により、ウィズコロナ時代に適応した市民が利便性を実感できる事業を実施するほか、業務の効率化を図ること。また、社会経済への影響に対して国が緊急対策を実施するという情報もある。国や東京都をはじめ、世界の情勢変化にも柔軟に対応するため情報収集に努め、機を逸することなく実施すること。

さらには、基礎自治体としての役割を整理し、意欲ある民間活力を利用するなど、将来にわたり持続可能な行財政運営を進めていく。

以上のことを踏まえ、次に定める基本方針に従い、予算執行にあたること。

基 本 方 針

- 1 「八王子ビジョン2022」の総仕上げとして、「夢と希望が持てる魅力あふれるまち」の実現に向け、あらゆる取組を連携させて各施策の目標達成を目指すこと。
- 2 令和4年(2022年)2月に策定した「デジタル・トランスフォーメーション推進計画」のもと、行政のデジタル化・オンライン化を加速化し、市民の利便性の向上及び業務の効率化を図ること。
- 3 「ゼロカーボンシティ宣言」を踏まえ、常に省エネルギーや再生可能エネルギーの活用を意識した事業展開を図ること。
- 4 予算計上した事業については、執行の際に実施手法を再検討し、より効果的な執行に努めること。特に、事業計画の策定にあたっては、職員が自ら考え、本市の特性を活かした独自の計画策定に努めること。
- 5 長期化する新型コロナウイルス感染症対策や現在の原油価格・物価高騰等を含め、刻々と変化する社会経済情勢を的確に把握し、市民の命と生活を守るため、基礎自治体としての役割を常に考え、速やかに、きめ細かく対応すること。
- 6 歳入においては、国や東京都の動向を注視し、最新の情報を捕捉することで、予算計上した歳入を確実に確保することはもとより、地域の課題解決に向けた取組に対する補助制度創設を提言するなど、新たな歳入確保、増収に向けて積極的に取り組むこと。
- 7 議会での予算審議を踏まえ、特に重要な意見・要望については、速やかに検討し、適宜政策決定を受けるなど、柔軟さと俊敏さをもって令和4年度(2022年度)の執行、あるいは今後の補正予算編成において対応すること。